

平成21年6月26日

東日本高速道路株式会社  
関東支社横浜工事事務所  
栄東工事長 加藤 健治

「6月29日の設計・用地説明の開催を中止し、開催について約束通り町会と協議を」について(回答)

貴会ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、弊社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成21年6月18日付けで弊社社長宛に提出された「書面」について、以下のとおり回答いたします。

なお、社長に提出されておりますが、釜利谷ジャンクション付近から神戸橋交差点付近までの設計・用地説明についての内容であるため、事業を担当しております当職より回答致します。

#### 記

設計・用地説明は、土地所有者等関係権利者や地域の皆様に、構造等の具体的な説明を行い、同時に用地補償に関する基本的な考え方の説明を行うものです。

このため、工事着手時の具体的な施工方法や施工計画については、今後の検討によりますが、庄戸トンネルは、当初、開削工法が想定されていたことは、ご存知のとおりです。しかし、地元の方の意見も踏まえ、施工中の環境影響を極小化することを目的に「庄戸トンネル検討会」(委員長：今田徹 東京都立大学名誉教授)を設置し、非開削工法の適用可能性等について検討してまいりました。また、地元要望である「下越えトンネルへの見直し」についても、地元の方との協議の場である「技術検討会(仮称)」において、1年間・10回にわたり真摯な協議を重ねてきたものと認識しております。

当該区間は横浜環状南線で唯一、設計・用地説明が未了な区間であり、事業遅延の一因となっております。一方、沿線地域でのアンケートでは約9割の方が開通に期待を持たれております。

様々なご意見があることは承知しておりますが、以上を踏まえて、今般、基本構造について一定の整理がついたことから、設計用地説明を実施するものです。

事業の進捗を図りつつ、住民の皆様との話し合いを行い、ご理解が得られるよう努めてまいりますので、今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

以上